

弁座間調整機能付き 大口径仕切弁

Large Size Sluce Valve with Seat Adjuster



図1 ガス用大口径仕切弁



図2 シートアジャスタ (写真)

1. はじめに

日本国内製鉄所の設備投資額は、近年、回復の傾向にあります。その中でも優先されているのは、老朽化が事故に直結するコークス炉ガス（コークス炉で発生する燃料ガス）配管といわれており、今後も更新が計画されています。当社ではコークス炉ガスを遮断するための鋳鉄製大口径仕切弁を製作販売しています。

2. シートアジャスタ

今回、紹介する新しいガス用大口径仕切弁（図1）はバルブボディにシートアジャスタを設けています。このアジャスタは人の腰に巻いたベルトと同じように、

締め込んだり、弛めたりすることが可能であり、バルブボディ内部の弁座間の寸法を微調整することができます（図2、3）。

3. 弁座調整機能（図4）

弁座間の隙間を調整するケースは2種類あります。一つは、据付け時の配管荷重の影響によるシートからの漏風対策です。配管荷重の影響によってバルブ本体に若干の歪みが発生したとしても、シートアジャスタを締め込むことで漏風量を軽減する効果が得られます。もう一つは、長期間使用時、シート固着によるバルブ開操作不能の対策です。この場合では、シートアジャ

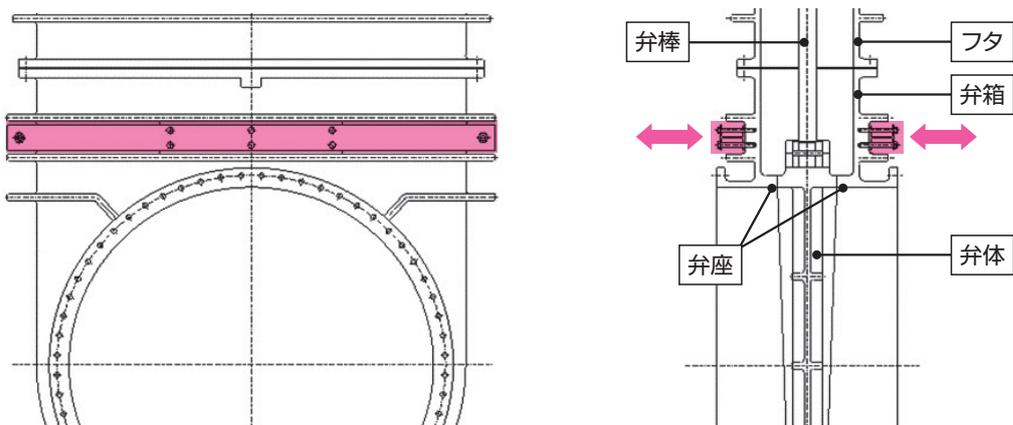


図 3 シートアジャスタ (概略図)

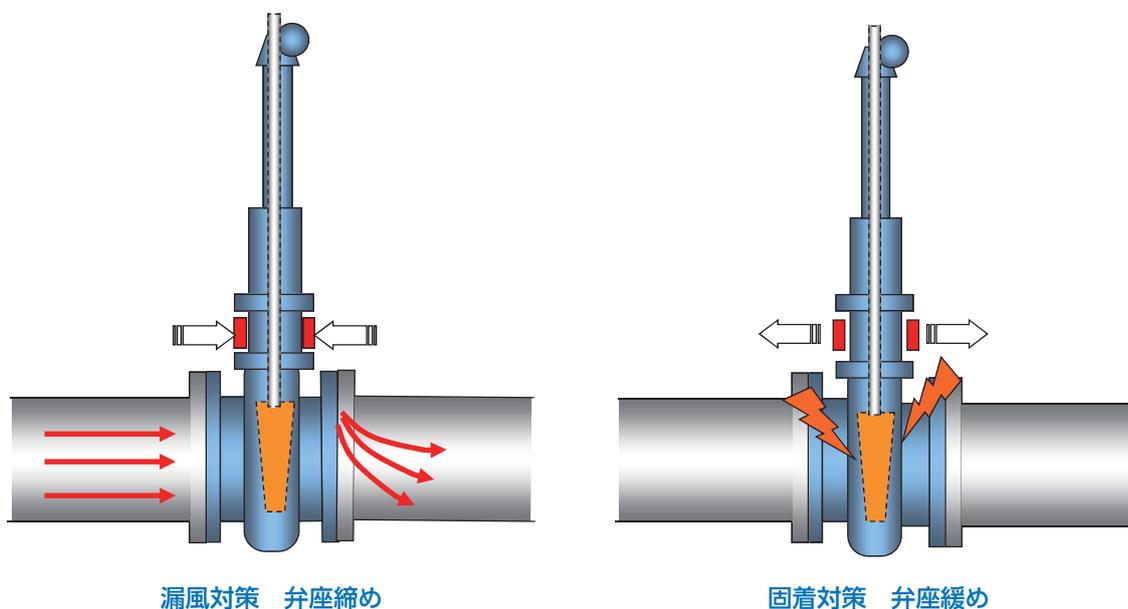


図 4 弁座調整機構

スタを緩め側に調整し、シート間を強制的に開くことでディスク引き抜き力を軽減する効果が得られます。

今後もお客様の要望を実現し、より良い製品に改良を加え拡販に努めて参ります。

4. 納入実績

2014年の販売開始から1年間で、国内製鉄所向けを中心に10台以上の納入実績があります。また、鉄鋼分野だけでなく化学プラント分野にも使用して頂ける製品です。

お問合せ先：バルブ事業部 バルブ技術部 TEL：06-6686-3125 FAX：06-6686-3105